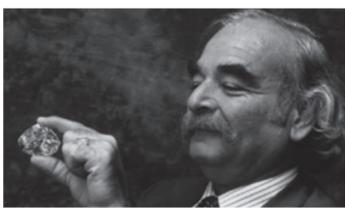


世界でも著名で、また尊敬されているダイヤモンドカッターのひとり、ガビ・トルコフスキー(Gabriel S. Tolkowsky)が、5月28日、84歳でこの世を去った。



### 著名なダイヤモンドカッター ガビ・トルコフスキー氏が逝去

ガビ・トルコフスキーは1939年、イスラエルのテルアビブで、ダイヤモンド産業の名門であるトルコフスキー家に生を受けた。ガビ氏はイスラエルでダイヤモンド研磨工場を経営していた父、ジーン・トルコフスキーからこの仕事を学び、その教育は世界でも最も有名なダイヤモンドを研磨するキャリアを築ききつてきた。

「毎日、仕事が終わると父はダイヤモンド研磨について学びに来た世界中の人々とともに工房から帰宅し、私たちの1つの大きなリビング兼寝室兼ダイニングルームに座っていました」と、ガビ氏はシ

ンガポールのストレーツ・タイムズ紙とのインタビューで語っている。父ジーン・トルコフスキーと彼のいとこは、1932年にアントワープからパレスチナ(現在のイスラエル)に移住した。ジーンはこの国でダイヤモンドの研磨事業を取り入れた最初の人物となった。

「当時は電気がなかったため、ダイヤモンドを研磨するには自転車を使って砥石を回す必要がありました。イスラエルで最初にダイヤモンド産業に従事した人々の多くは私の父の生徒でした。私は父から自分の仕事を学びました。そしてこのような貴重な機会を得られたことを誇りに思っています。」と回想する。

1975年から1995年まで、ガビ氏は、デビアスの子会社で製造部門であるディアトラダ社(現在は存在

しない)で会長兼社長を務めた。また彼は、デビアスが創業100周年を記念して1991年に発表した273.85ctsのザ・センテナリーダイヤモンドをカットしたことで名声を得た。

このザ・センテナリーをカットするにあたり、何ヶ月の間ガビ氏は「ただ眺めていただけだった」と2000年のインタビューで語った。「一日中見ていました。夜にも。日中は私がダイヤモンド(原石)を見て、夜にはダイヤモンドが私を見ていました。(カットの)答えを探していたので、私は眠れませんでした」と、彼は当時を振り返った。

ストレーツ・タイムズ紙によると、デビアスがこの歴史的なダイヤモンドを研磨すると発表した後、ガビ氏は妻とともに報道記者から身を隠さなければならぬ結核菌ケプトウムの人里離れたホテルの地下にある非公開の部屋に滞在することになったという。その後、彼は厳重なセキュリティを備えた地下施設で、このダイヤモンドのカットに3年を費やした。そうして研磨されたザ・センテナリーダイヤモンドは後にロンドン塔にも展示された。彼はまた、デビアスのために545.65ctsのザ・ゴールデン

ジュビリーダイヤモンドをもカットしている。

この2つのカットはwatch-jewelry-onlineで閲覧可能=QRより。

また、ダイヤモンド専門商社で、日本で唯一のパートナーとなっている(株)APの広報担当者は「ガビ氏のダイヤモンドに対する愛情、情熱、理念は30年を超える長年のパートナーシップを通じ、(株)APの理念として深く刻みこまれております。私たち(株)APは、ガビ・トルコフスキー氏のダイヤモンドに対する情熱に深い敬意を示すと共に、ガビ・トルコフスキー氏の遺志を受け継ぎ、ガビ氏が生み出し愛したユニークなダイヤモンドの輝きを今後も広く伝えてまいります」とコメント。

特別な輝きを生み出すガビ・トルコフスキーの特別なダイヤモンドカットは、生前ガビ・トルコフスキーが監修し、その技術を継承し認められた工場と職人に引き継がれているという。

ガビ・トルコフスキー氏のご冥福を心よりお祈りします。

の大谷翔平選手が「挑戦の時間を楽しみたい」と力強いメッセージを送る。セICOEプロスペックス新CM。

同日より、11万円(税込)以上のセICOEプロスペックスまたはセICOEアストロンの購入者に「大谷翔平選手ポブルヘッド」をプレゼントするノベルティキャンペーンを実施している。

また銀座の「セICOEドリームスクエア」では、大谷選手の「挑戦」の軌跡を展示する「#挑戦の時間を楽しめ。フォトギャラリー」を実施。来場し、セICOEプロスペックス 1968 メカニカルダイバーズ 現代デザイン GMTの試着すると、大谷選手の特製ポストカードなどがその場で当たるイベントに参加できる。



### 株式会社 AP 新体制としてブランドを強化

(株)APは、今年より新たな組織体制に移行し、既存ブランドの強化と拡大に努める。新経営陣として代表取締役CEOに佐渡章悟氏、代表取締役COOに馬場尚聡氏が就任、統括本部長として伊藤拓也氏、相談役として同社創業

(株)APは、1960年の日本でのダイヤモンド輸入自由化と同時にダイヤモンド輸入業を開始、日本でのダイヤモンド鑑定書の導入、コンピュータ鑑定

の導入など日本のダイヤモンド産業の発展に貢献してきた。旗艦ブランドとしてIDEALを1972年より販売開始、最新テクノロジーを採用しながら最高の輝きのダイヤモンドを追求、現在ではSarinetによる信頼性の高いトレーサビリティを導入し、輝きとともに最高レベルの信頼性も提供している。

また1992年より現在の相談役である石田政平氏との友情関係により、世界最高峰のダイヤモンドカッター、ガ

ビ・トルコフスキーのダイヤモンドの取扱いを開始。日本唯一のパートナーとして唯一無二の輝きを提供してきた。ガビ氏が今年5月28日に逝去したことを受け、APではガビ氏の意志を継ぎ、ガビ氏の理念と輝きを伝えるためブランドをより強化することを表明している。

さらに、六本木ヒルズの旗艦店を「AP DIAMOND」にリニューアルし6月21日にオープン、APの旗艦ブランドを中心に取り揃え、ブランドの更なる認知と強化を図る。

代表取締役CEOの佐渡氏は「歴史と最新テクノロジーを備えたAPのアドバンテージを活かし、皆様に支持されてきたIDEALとガビ・トルコフスキーのブランドを強化、クライアントの皆様にとってより一層魅力的なブランドとなるよう努めてまいります。今後の皆様のご支持をお願いします」とコメントしている。

### SEIKOが世界陸上ブダペスト大会の日本代表オフィシャルスポンサーに

セイコーグループ(株)は、公益財団法人日本陸上競技連盟との契約により、8月19日から27日まで、ハンガリー(ブダペスト)で開催される第19回世界陸上競技選手権 ブダペスト大会における「日本代表オフィシャルスポンサー」に認定された。

セイコーが同大会で「日本代表オフィシャルスポンサー」を務めるのは初の試みとなる。

同社はオフィシャルスポンサーとして、「人々と社会に信頼と感動をもたらし、世界中が笑顔であふれる未来を創る」という同社グループのパーパスの実現に向け取り組んでいく。

なお、日本代表選手全員にセイコープロスペックスを贈呈する。

格のまま一般客へ販売を開始した「東洋ルース」の新規事業がルースブームの先駆けとなり、今では全国で年間60本以上もの展示会に参加し、1点500円からという破格の値段で本物の宝石を販売。販売会では約3万点もの商品を現地に揃え一気に展示・販売を行っている。

近年では、一般客がルースの状態



8月14日は「裸石の日」

東洋ルース(埼玉県北本市、中村秀夫社長)が運営する、日本最大級のルースショップ「東洋ルース」が、8月14日を「裸石の日」と制定し、一般社団法人日本記念日協会に認定された。\*8月14日=8(はだか)14(いし)にかけている。

ルースは本来、業者間の取引が基本とされていたが、2019年4月に、卸

保管理コレクションするほか、コロナ禍によるハンドメイド需要の急増に伴い、ルースだけを買求めるケースが増えている。

同社は、8月14日「裸石の日」の制定を記念し、その前後に販売会を開催し、イベントやプレゼントを実施する。8月11日~13日:東洋ルース販売会in千葉柏の葉(柏の葉カンファレンスセンター)、8月18日~20日:第7回なんぼ石ころマーケット(難波御堂筋ホール)。

日本唯一の宝飾専門店街ジュエリータウンおかもち(JTO、山本孝広会長)は、日頃の感謝を込めた「JTO サマーセール」を7月3日~7日の5日間開催する。

参加会員は26社。赤坂ユニバースGOSHO、セブン宝飾、R.P.JEWEL'S、セレナ、石福ジュエリーパーツ、ダイドウ商事、エステート、ダカトウ、オーロラ、高橋宝飾、Hachi Jewelry(柳川浩、東越貿易(株)越谷、きのの、dlogs、玉煌、中川装身具工業(株)きんや、桑里商事ジェイ・ワン、パーツハウス、近藤宝飾、ふれんど、三和真珠、村田宝飾、シーフォース、メルキュール、ジュエリーエバト、ユニオン真珠。

確かなものが集まる専門店街では

日々数十億円という商いが成立し、商品だけではなく、流行りの商品、お得な価格の商品、珍しい商品、高価な商品、これらから売れるものなどの情報が凝縮された「お得」があふれる街となっている。

特にサマーセール中は、参加会員店で「お得」が揃った特別提供品ほか、景品総額200万円、特賞10万円の買物券が当たる抽選会などが目押しし、色々な話も聞けるので、どんどん質問しながら歩きたい。

7月3日~7日

感謝を込めた「JTO サマーセール」

お得意な「商品」から「情報」まで

お店とお客様の橋渡しができる!!

販売員さんご紹介します!

BICO・GHI株式会社

エムシー・ジー・マネキン紹介事業部

東京 TEL:03-3409-6954

札幌 TEL:011-219-0758

大阪 TEL:06-6348-1020

イラスト chabico

路傍のカナリア102

「家ゴロ亭主は留守がいい」

年夫婦の在り様に一つのシグナルを送っているように見える。(もちろん夫婦内の微妙な事はわからないが)似たような話題だが定年後家でゴロゴロしていた夫が一週間のうち三日は外にいて欲しいと妻に言われて、居場所を探るの離婚をした話を聞いた。旦那さんの横暴に我慢が切れて奥さんの方から離婚を切り出したという。旦那さんは大手企業の役員まで務めた人だというからそれなりに見識がある人だろうし、生活に困っていたわけでもないさうだが、なんとなくこの奥さんの気持ちが伝わってくる。90歳の女性一人暮らしのアパートを探すのは大変だったということだが、それでも決断した奥さんは現在の定

うことではなく、そこにいること自体がたぶん苛立つのだろうということである。三日は居ないで欲しいというあの奥さんの訴えはたぶん切実なものなのだ。この切実さは夫の側からはなかなか理解できないに違いない。自分の頑張り

で家族を養ってきたと思えば思うほど、妻の訴えは理不尽に見えてくる。わがままとも、身勝手とも、更年期障害だろうとも痛罵するかもしれない。

が、たぶん違う。主婦の仕事が忙しいこともある。炊事、洗濯、掃除に買い物、ごみ出し、ペットの世話に近所付き合い、家計簿つけて金銭管理、なにより土日の休みなし。それに家ゴロ亭主の世話焼きと小言が重なれば腹立ちストレスは膨張する。けれども根っこにある苛立ちは、夫という存在からオーラが消えてしまったことなのだ。オーラは見えない。本人にもわからない。ひよっとしたら奥さんもはつきりとはわからないかもしれない。でも苛立つのだ。やることもなく家でごろごろしているその精神の内発性を失った存在

と同居し顔を突き合わせる嫌悪感がどこからともなく湧き上がってくる。それは引きこもりの家族を抱える当事者のきつさに通じるものだろう。裏返せば人は社会とつながりを持ち生きがいや使命感に浸されて初めて人らしいと言えるのだ。家ゴロからは精神の腐臭さえ臭ってくる。家族愛と一口に言う、確かに家族の温かさは人を癒す。一方で家族は感情の共同体でもある。生の感情と感情がぶつかり合う増殖である。相手を慈しみ、思いやる一方で恨み、つらみ、猜疑、後悔、忍従、怒りそれに連なる憎悪と殺意さえ含んでいる。負の感情が塊となって噴出しないうちに家ゴロ亭主が心すべきことは自らを自覚し理解することに尽きる。いずれ肉体が衰えて家ゴロ精神とつり合いが取れてくれば、家庭平和は戻る。それを「枯れる」と言うだろうが、自己理解を放置すれば90歳にして痛い目に合うということになる。

Woody Bell (ウッディー・ベル)

特殊な修理を得意とする

~WOODY BELL~

東京都台東区東上野2-10-2第5改木ビル3階

TEL 03-5688-2390

http://woodybell.jp/

e-mail: woodybell12@gmail.com

信頼と輝きを永遠に

Higasa

宝石・貴金属・輸入加工卸

八重洲株式会社

東京都中央区八重洲2-5-9

TEL.03-3274-3021

FAX.03-3274-3026

至福の着け心地は、大人たちの時間のために

じっくりとただ静かに、自分だけの時間を愉しむ大人たちへ。わずか1.00mmのムーブメントがもたらす何物にも代えがたい心地よさをその腕に。

Eco-Drive One

CITIZEN

BETTER STARTS NOW

AR5054-51E 473,000円 (税抜価格 430,000円)

シチズン時計株式会社 https://citizen.jp